

第29号

<発行所>
 栃木県建設業協会
 鹿沼支部
 鹿沼市万町752-6
 電話(0289)65-2020
 広報委員会
 発行責任者
 佛田 博



平成十六年度上都賀南部建設業協同組合 第三十二回 通常総会

去る五月十四日(金)午前十時より鹿沼建設会館に於いて、通常総会が開催された。

冒頭中津理事長の挨拶があり、その後小曾戸廣卓議から祝辞をいただきました。

十五年度事業報告、収支決算、十六年度事業計画案、収支予算案などを原案どおり可決・承認したほか、任期満了に伴う役員改選を行った。

新理事長には、前副理事長角田満生氏が、就任しました。また、副理事長を三人とし、中山光郎氏のほか、高内創氏・神谷成美氏が新しく副理事長に就任しました。

総会では理事が選任され、理事会での互選において新役員が選出された。

新役員は次の通り。

理事長 角田満生(角田建設株)

副理事長 中山光郎(中山建設株)、高内 創(佐野屋建設株)、神谷成美(神谷建設株)

理事 阿部治司(大芦産業株)、井戸文雄(井戸産業株)、安中正男(安中建設株)、大塚誠一(大塚建設有)、福田泰一(有)新井建設、宇賀神勝(機械建設株)

監事 川上貢一(川上建設株)、五月女博(五月女建設株)、竹沢則男(竹沢建設株)

監事 川上貢一(川上建設株)、五月女博(五月女建設株)、竹沢則男(竹沢建設株)

支部長就任にあたり



支部長 角田 満生

この度、支部総会において、鹿沼支部長を拝命致しました。

支部長の重責に、荷重く道遠しの思いですが、中津前支部長様を始め先輩各位また、支部の皆様のご指導ご協力を頂き、鹿沼支部発展の為尽力する覚悟でありますので、どうぞ宜しくお願い致します。中津前支部長様におかれましては、常に支部の先頭に立ち、公共事業の確保の為、又、ダム問題等積極的に取り組み、支部を導いて下さいました。そのおかげで、今日の鹿沼支部があります。この業績を引き継がせて頂く所存であります。

ます。

今、建設業界は大変厳しい状況にあります。ここを乗り切るのは支部全員の協力と、支部各委員会相互のコミュニケーションが非常に大切だと思います。厳しい冬の後には必ず春が訪れる事を信じ、互いに力を合わせて、鹿沼支部及び建設業界発展の為、御協力お願い申し上げます。

新年度着任挨拶



上都賀農業振興事務所 所長 君島 好美

この四月、上都賀農業振興事務所長として着任致しました。前任者同様宜しくお願い致します。

栃木県建設業協会鹿沼支部の皆様には、日頃から農業行政のうち

とりわけ農業農村整備事業の推進にあたりまして、御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今日の農業・農村は、担い手の減少・高齢化が進むなど多くの課題に直面しておりますが、県では、これらの課題に対応するため「首都圏農業推進計画21」に基づき、米麦、園芸、畜産のそれぞれの特徴を活かした農業生産の振興を図るとともに、農業・農村が持つ多面的機能の発揮など、都市と農村が共生できる「食と農の郷とちぎ」を目指しているところです。

上都賀管内につきましては、水田の整備率が48%（県平均69%）と農地の整備が著しく遅れていることから、経営体制基盤整備事業を中心とした県営の圃場整備を積極的に推進しております。本年度は鹿沼市の北赤塚二など二地区が新規採択となり十二地区で事業を

実施いたします。なお、整備率向上を図るため今後とも藤江地区はじめ新規地区の事業計画樹立に向け努めて参る考えです。

また、農業の振興と農村の安住条件の整備を図るためのふるさと農道緊急整備事業を、新規の栃窪十二ほか七地区で実施します。さらに、環境型社会の形成に向け鹿沼市が事業主体となり本年度から取り組む堆肥化センター整備について支援して参ります。

これらの事業につきましては、工事請負業者の御協力と地域住民との連携を図りながら環境との調和に配慮しながら実施することに加え、工事執行につきましては、職員一丸となり上半期執行に取り組んで参りますので、会員の皆様には御理解を頂きたいと思っております。最後に、栃木県建設業協会鹿沼支部の益々の御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念しまして、着任の挨拶とします。



鹿沼林務事務所
所長
赤羽 吉松

本年四月一日付けで、栃木県鹿沼林務事務所長として着任いたしました赤羽でございます。

栃木県建設業協会鹿沼支部の皆様には、日頃、林務行政の推進と
りわけ、治山、林道、自然公園施設整備事業等におきまして、格別なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は、森林、林業学基本法に基づき、栃木県総合計画「とちぎ21世紀プラン」の部門計画である「林業・自然ふれあいプラン」の計画目標の達成に向けて、森林の持つ諸機能の高度発揮のため、治山・林道事業や森林整備を積極的に推進していくこととしております。

工事の執行に当たりましては、引き続き早期発注に努めてまいりますので、皆様方におかれましては、当事務所との連携を密にされ、

工事の安全を第一に、出来形、工程など施工管理に充分努められ、優良な工事を完成して頂きたいと思っております。

今年度の主な工事でございますが、先ず治山事業につきましては、災害に強い安全な県土づくり、水源地域における森林の機能強化を促進するため、「細木沢」外十一ヶ所で工事を実施します。また、林道事業は、森林基幹道「前日光線」を重点に開設、改築を実施するほか、「与州加戸沢線」の開設等十七ヶ所で工事を実施します。

自然公園等施設整備事業につきましては、井戸湿原内の木道等の歩道整備を予定しております。

保全林及び保安林整備事業につきましては、「草久生活環境保全林（仮称）」外の保安林等において、森林の広域的機能を高度に発揮させるため、植栽や除間伐等森林整備を八ヶ所で実施します。これらの各事業は地域の振興、延いては林業の振興という面がありますことから、森林土木事業への木材利用の拡大を一層促進して参る所存ですので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、栃木県建設業協会鹿沼支部の役員並びに会員の皆様方の

ご発展とご健康を祈念いたしまして着任のご挨拶といたします。



鹿沼土木事務所
所長
岩本 克行

栃木県建設業協会鹿沼支部の皆様には、常日頃から当管内の土木事業推進のため、特段のご配慮とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本年四月一日の人事異動により鹿沼土木事務所長として着任いたしました。前任者同様よろしくお願い申し上げます。

さて、昨今の公共事業における情勢は更に厳しいものになってきておりますが、実際に周囲の身近な声を聞いてみますと、道路や河川の整備に対する地域の要望は依然として強いものがあります。一方では、道路や河川の管理や保全といった部門の業務が益々重要性を増してきており、その意味において、それらを踏まえつつ地元市

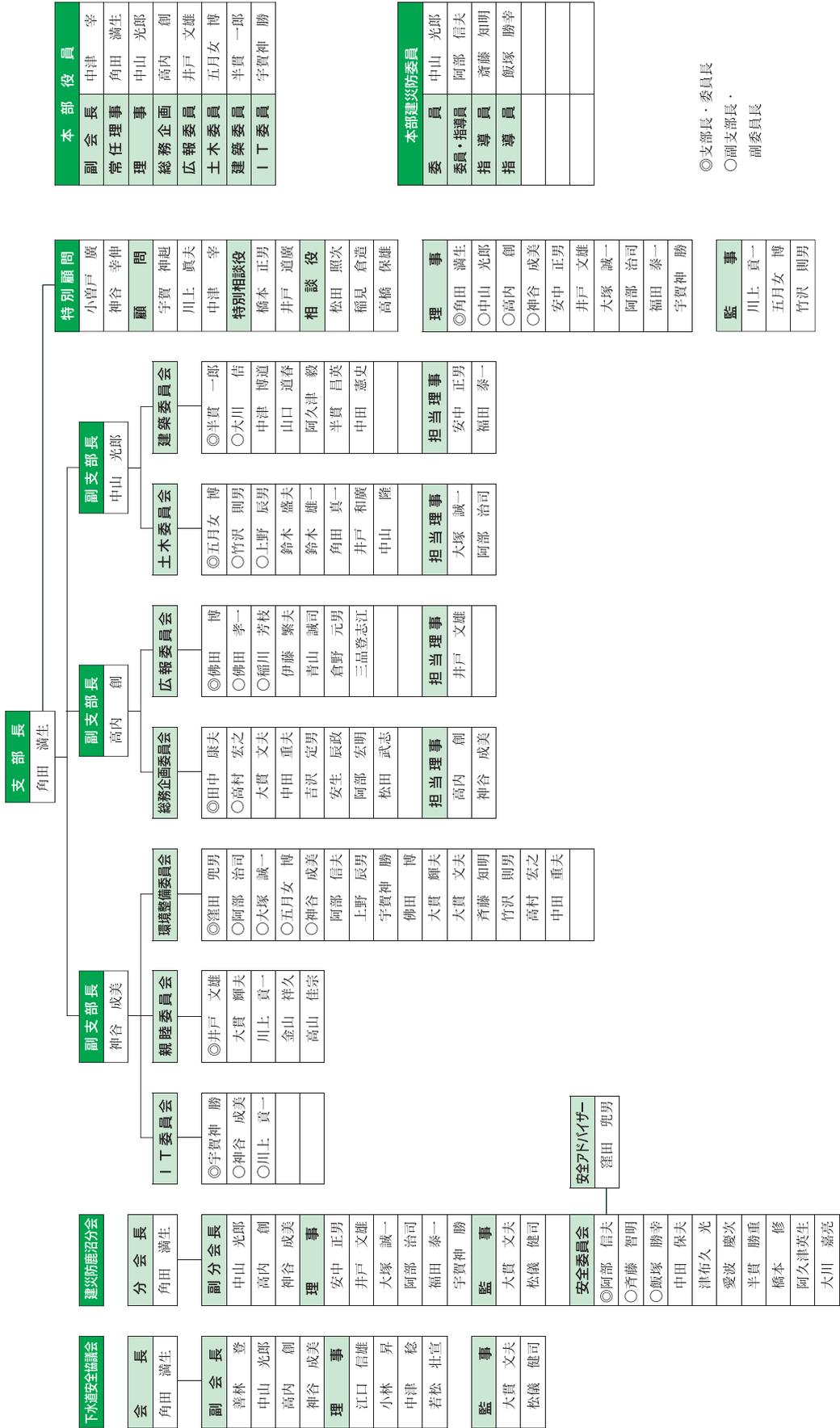
町村の意向や地域の人々の意見等の調整を図りながら、如何に効果的に地域づくりに関わっていくかが最も重要な課題になってきております。

私は、当事務所の勤務は初めてでありますが、管内は清流や山々など自然豊かな美しい景観と観光資源に恵まれた地域であるとともに、例幣使街道などに代表されるように昔から交通の要衝でもあり、また近年は、中心市街地の整備をはじめとする地域活性化のためのまちづくり施策等もいろいろ展開され、将来に向けて個性豊かな発展性が非常に高い地域であると感じております。

つきましては、県政の基本指針である「とちぎ21世紀プラン」の大きな柱の一つでもある「快適で安全な暮らしを築く」を目指して、少しでも地域づくりに貢献出来るよう精一杯の努力をして参りますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、栃木県建設業協会鹿沼支部そして会員の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして着任のあいさつとさせていただきます。

鹿沼支部委員会組織図



委員会報告

総務企画委員会

委員長 田中 康夫

建設業を取り巻く経営環境は、かつて経験したことのない厳しい状況に直面しております。新年度に入り悪状況を改善すべく新役員が決定しその活躍に期待を大とするものであります。

総務企画委員会では、その執行部の一助となりうるように活動することが責務であると考えております。

総務企画委員会では、前年度アンケート調査を行ない会員の皆様に貴重な意見を頂いております。その意見に基づき各問題を解決できるように活動して行きたいと考えております。具体的であれば、支部会費の見直し、新たな事業の発掘、出資金問題、土地問題等々の取り組むべき課題は数多くありますが、委員一丸となって微力ではありますが、今年度も総務企画委員

会の活動に御理解御協力をお願い申し上げます。

土木委員会

委員長 五月女 博

最近の公共工事の激減には各会員にとつてあまりにも大きな痛手であると思ひます。

それは、皮をはぎ肉を削りでも、まだ、足りないといった方がいいかもしれません。しかしながら、私達は支部ばかりでなく、支部の存亡をかけてこの事態に当たらなければ、ならないと思ひます。

そして支部の土木委員会としても次の事業を掲げ推進することとします。

- 一、 各員各社の土木技術の向上を目指します。
- 二、 各河川の湯水状況調査。
- 三、 鹿沼農業高校生のインターンシップの実施。
- 四、 鹿沼農業高校生の現場研修の実施。
- 五、 土木学会関東支部栃木出席。

- 六、 建設副産物対策講習会。
- 七、 災害発生時緊急連絡網の整備と対応。
- 八、 危険箇所調査報告。
- 九、 発生残土処理の調査。
- 十、 現場代理人を対象とした現場研修。
- 十一、 情報高度化への対応。
- 十二、 土木学会、土木技術研究発表会。
- 十三、 土木学会、国土交通省土木技術フェア参加。
- 十四、 環境整備委員会との協力研究。

その他の活動を計画していきま

すので関係各機関の御指導御鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

建築委員会

委員長 半貫 一郎

今年度の建築委員長を命じられ、微力ながら会の発展の為、小生なりに、力を注いでゆきたいと思ひます。

今年度活動計画として、建築現

場での労働災害の防止の為、安全衛生の企画、立案、推進、現場で実施すべき管理指導、支援を関係官庁の指導の下、活動して行きたい。

建築業界の社会的信頼の為、日々変化、向上している建築会に取り残されないよう講習会を通じて、施工技術の情報の提供をして行きたい。

建築を取り巻く関連業者との情報交換により、取り巻く環境の変化や、新たな時代の要請に的確に対応できるように、取り組んで行きたい。

本部の皆様、建築委員の連帯を深め、協会各位のご指導、ご協力をお願いし、会のために、お役に立てればと思ひます。

IT委員会

委員長 宇賀神 勝

今年度よりIT委員会委員長になりました宇賀神勝です。当委員会が発足して以来二年の歳月が経ちました。当初はパソコン所有し

ていない会社、インターネットを知らない会社が多数ありましたが、この二年間の中で、パソコンの所有率一〇〇%になりました。インターネットの運用という目標は達成し、ファックス連絡の廃止までは成功したと思います。

しかしながら、それ以外の使用法は見出せていないというのが当支部での現状で、この部分において何らかの対策を講じたいと思います。イントラネットは閲覧板を見る為だけにあるのではなく、情報を共有する為の道具なのです。

また、栃木県でも一部運用が始まった電子納品や電子入札という今後避けては通れない電子的課題に対して、当委員会としては情報提供や勉強会等を随時開催し、IT部門においてのバックアップを図って行きたいと思えます。

ご存知でない方や、一度も見たことのない方がいると思うのですが、鹿沼支部のホームページがあるのです。こちらの更新も広報委員会と連携をとり、活動状況等を業界の人々だけでなく、広く一般

の方々に情報発信し、建設業界のイメージアップに貢献したいと思えますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

環境整備委員会

委員長 窪田 兜男

今、建設業を取り巻く経営環境は急速に変化しています。公共工事が大幅に削減され収益性が低下している中、各企業生き残りをかけ、従業員の削減を含めた販管費の削減等コストダウンを進め、受注高が減少する中で利益額を確保する様、各企業が努力している所だと思えます。我々企業は利益を追求し、社会に貢献する為組織する集団であることを認識し、初心に返って事業の中で社会にいかに貢献できるか考え直し、鹿沼を住みよい街に出来るか会員共々考え、委員会活動を推進して行きたいと考えています。

自治会、行政との懇談会、管内の環境問題、他地域の視察研修、討論会等、会員共々、急速な変化

に対応出来る様な、委員会活動を推進して行きたいと思っております。

広報委員会

委員長 佛田 博

『委員会報告』と言うことで、各委員長さんには、お忙しい中、原稿を書いていただき、苦勞様でした。

年間計画としましては、「支部だより」が七月号、一月号の二回発行の予定です。それに本部発行「けんせつ」の原稿依頼の協力です。この原稿を委員で割り振りし対処していきます。一昨年よりイントラネットによる回覧が始まりましたがもう少し活躍が出来ていないような気がします。今年度からは、もっと協会員皆様を利用して意見やニュースを流してもらいたいと思えます。

最後に七月号発行にあたり関係官庁の方々への原稿を快くご寄稿いただき、支部員一同心より感謝申し上げます。

安全委員会

委員長 阿部 信夫

長引く景気低迷の中、経済状況は少し回復傾向にあると言われておりますが、建設業界を取り巻く環境は益々厳しい状況にあると思われれます。しかしながらこのような環境であればあるほど、建設企業に求められるものは、人命尊重を第一とした、「安全なくして企業もまた無し」の観点から、災害防止活動の推進、充実、実行の強化をして行かなければならなければならぬと思えます。

今年度も労働基準監督署、発注関係機関のご指導の下、委員会活動を行いたいと思えます。

- 一、安全委員会
- 二、安全パトロール
- 三、安全合同パトロール
- 四、安全指導者パトロール
- 五、鹿沼分会安全セミナー
- 六、鹿沼地区産業安全衛生大会
- 七、各種講習会の実施

右記活動計画に対し、関係各位の皆様のご指導御協力をお願い致します。

青年の会

会長 高村宏之

この度、鹿沼支部青年の会の会長をおおせつかりました。

その器ではありませんが、与えられた役目と想ってその職の遂行に努力して参りますので、支部員の皆様のご支援と御協力を宜しくお願ひします。今、この業界は大変な苦境にたつています。その上一般住民の方々が、公共事業あるいは建設業に対して悪いイメージを持っていると思います。公共事業は、無駄なものであり要らないものであるというような考え方をしている人が多くなつてきていると思います。

しかし、地域を安全にし、便利にし、快適にし、或いは豊かにする為に仕事を進めていくのが公共事業でありますから、決して無駄なものではなく必要不可欠なものであるわけです。この公共事業の必要性を多くの人々にわかつてもらう努力が大切だと思います。私達は地域に根ざした業者とし

鹿沼支部（鹿沼支部青年の会）

| 氏名 | 所属会社名 | 氏名 | 所属会社名 |
|-----------|---------|------------|----------|
| 相談役 吉沢 定男 | 吉沢建設(株) | 会計幹事 半貫 勝重 | (有)半貫工務店 |
| 相談役 神谷 成美 | 神谷建設(株) | 会計幹事 橋本 修 | 橋本建設(株) |
| 相談役 川上 貢一 | 川上建設(株) | 監事 井戸 和廣 | 井戸産業(株) |
| 会長 高村 宏之 | 高村土建(株) | 監事 中山 隆 | 中山建設(株) |
| 副会長 高山 佳宗 | 山和技建(株) | 福田 孝一 | (有)ブツダ工業 |
| 副会長 宇賀神 勝 | 機械建設(株) | 愛波 慶次 | 西城建設(株) |
| 幹事 鈴木 雄一 | (株)鈴木工業 | 飯塚 勝幸 | 富士建設(株) |
| 幹事 青山 誠司 | (株)青山建設 | 倉野 元男 | 倉野工業(有) |
| 幹事 角田 真一 | 角田建設(株) | 阿部 宏明 | 大芦産業(株) |
| 幹事 大川 嘉亮 | 大川建設(有) | 半貫 昌英 | 半貫建設(有) |
| 幹事 中田 憲史 | (株)中田建設 | 金山 祥久 | 金山産業(株) |

て、日常生活の中でも色々な面で、地域のあるいは住民の役に立っているわけでありますから、この事を一般にもつと知ってもらふ必要があると思います。

青年の会新役員と共に、現状を

しっかりと分析しながら、若者らしく活力のある会の運営をして行きたいと考えています。皆様方の御支援と御協力を心からお願い致します。

鹿沼支部視察研修

六月十二日、十三日の土日を利して、恒例の鹿沼支部員相互の親睦のための旅行へ行つて来ました。

今回はより多くの会員が参加しやすいように近場の仙台一泊バス旅行としましたが、厳しい業界事情のためか、四十六名の会員中、参加者十五名のちよつと寂しい旅行となりました。

一日目は東北道の二本松インターで降りて、鬼婆伝説で知られる安達ヶ原ふるさと村で「うちにもいるような…」と大笑いして盛り上がり、赤飯のルーツである鉄分カルシウムが豊富な古代米を炊き上げた元祖赤釜飯の昼食をおいしくいただきました。

青葉城では仙台市内を見渡す素晴らしい眺望を満喫しながら、戦国時代をしぶとく生き抜いた伊達政宗に思いをはせました。

青葉城のふもとの仙台市博物館

では「伊能忠敬の日本地図」の特
別展を興味深く見学しました。五
十六から十九年間かけて四千万歩
を歩いて日本の形を地図にした測
量の大先輩の偉業に全員感銘を受
けました。

懇親会では焼酎の蘆薈話や熱く
将来を語る人で面白おかしく和気
あいあいであつという間に仙台の
夜は更けていきました。

二日目は「しおがまさま」と尊
称される塩竈神社で鹿沼支部と支
部全員の隆盛発展を祈願して、早
めの昼食をとり、午後四時少し前
には鹿沼支部に無事に戻りました。
少しのお土産とここには文字に出
来ない楽しいお土産話を沢山持ち
帰ることができました。

来年の視察研修はもっと可笑し
くて楽しくなるように会員の皆様
の生の声をお待ちしています。

(親睦委員 川上記)



編集後記

いつも「鹿沼支部だより」を発
行するに当って思うこと。今年こ
そはマンネリ化した内容を打破し
て、斬新な「支部だより」と思っ
ていますが、現実はなかなかそう
はいかないものです。広報委員を
務めた方ならわかると思いますが、
企画から校正まで時間がかかるた
め、新しい企画に手が出せない
と言うのが本音です。建設業鹿沼支
部にもホームページが開設され、
支部だよりに書けなかつた内容は、
HPに載せる様になると思います
ので、IT委員会の皆様にも宜し
くお願いします。

建設業界は相変わらず不況の中
ですが、今年はアテネオリンピック
の年、日本人として世界に日本
ありと「日の丸」を掲げてほしい
ものであります。

今後、皆さんのご意見を頂き
新しい「テーマ」も考えながら、
広く支部内外の情報提供に貢献し
たいと思いますので、御指導、ご
協力を宜しくお願い致します。

佛田記